



## 2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東  
 コード番号 3687 URL https://www.fixstars.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751  
 定時株主総会開催予定日 2021年12月23日 配当支払開始予定日 2021年12月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	5,501	△4.6	971	△18.0	960	△18.5	543	△18.7
2020年9月期	5,764	△17.3	1,184	△10.0	1,178	△10.1	668	△23.2

(注) 包括利益 2021年9月期 571百万円 (△12.6%) 2020年9月期 654百万円 (△26.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	16.64	16.63	15.6	12.4	17.7
2020年9月期	20.24	20.22	19.9	19.2	20.5

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 ー百万円 2020年9月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	7,396	3,642	47.8	108.68
2020年9月期	8,143	3,541	42.1	104.60

(参考) 自己資本 2021年9月期 3,533百万円 2020年9月期 3,429百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	864	△487	△1,310	4,681
2020年9月期	816	△79	3,162	5,593

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	ー	0.00	ー	6.00	6.00	196	29.4	5.7
2021年9月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00	162	29.9	4.5
2022年9月期(予想)	ー	0.00	ー	6.00	6.00		27.9	

### 3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	1.4	400	△14.2	400	△12.8	230	△14.3	7.07
通期	6,500	18.1	1,100	13.2	1,100	14.6	700	28.9	21.53

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2021年9月期	33,635,000株	2020年9月期	33,617,500株
2021年9月期	1,120,459株	2020年9月期	829,459株
2021年9月期	32,651,089株	2020年9月期	33,012,447株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,807	△4.2	1,058	△14.3	1,086	△14.7	446	△16.2
2020年9月期	5,018	△20.0	1,234	19.2	1,273	20.2	532	△28.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	13.67	13.67
2020年9月期	16.13	16.12

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	6,693	2,974	44.4	91.49
2020年9月期	7,532	2,993	39.7	91.30

(参考) 自己資本 2021年9月期 2,974百万円 2020年9月期 2,993百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）次期の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 次期の見通し .....	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	11
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、期末時点においては新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しつつあるものの、企業活動や個人消費等への影響が引き続き懸念される状況であります。世界経済においても新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、通商問題や半導体不足等の状況も相まって、先行きは不透明なものとなっております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速度処理を実現するソフトウェア及びハードウェア等を提供するとともに、これらの知見がより広く社会に活用されることを目指し、新規SaaS事業の展開を行っております。

当連結会計年度を初年度とする中期経営計画の策定に伴い管理体制を再構築し、主力であるソフトウェア開発・高速化サービスを中心に事業を展開する「Solution事業」と、新規SaaS事業を推進する「SaaS事業」の2つへ報告セグメントの区分を変更しております。

主力のSolution事業では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。その他においても、高速化サービスに対する旺盛な需要を背景に、日本国内の製造業向け案件を中心として安定的な収益を獲得しております。

SaaS事業においては、エッジビジョンAI/IoT向けクラウド評価環境「GENESIS」、量子コンピュータ向けプログラムの開発・実行プラットフォーム「Fixstars Amplify」、AIコードレビュー「Sider」、乳がんAI画像診断支援事業等の開発を進めております。

また、海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は5,501,506千円（前連結会計年度比4.6%減）、営業利益971,665千円（前連結会計年度比18.0%減）、経常利益960,077千円（前連結会計年度比18.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益543,173千円（前連結会計年度比18.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますが、前年同期の業績を変更後のセグメントに組み替えることが実務上困難であることから、前年同期との比較情報は記載しておりません。また、当連結会計年度の業績を変更前のセグメントに組み替えた情報につきましては、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載しております。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

#### ①Solution事業

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。LifeScienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援、Industrialの分野では産業機器等におけるマシンビジョンシステムの高速度化支援等を提供しております。

この結果、売上高は5,420,798千円、セグメント利益（営業利益）は1,451,497千円となりました。

#### ②SaaS事業

各SaaS事業において、将来の収益獲得に向けて積極的な投資・開発を行っております。

この結果、売上高は80,708千円、セグメント損失（営業損失）は△479,831千円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて747,087千円減少し、7,396,148千円となりました。借入の返済や納税、自己株式の取得等により現金及び預金が911,808千円減少した一方で、本社移転等に伴い有形固定資産が375,667千円、敷金及び保証金が172,137千円増加したこと等が主な要因であります。

##### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて848,167千円減少し、3,753,361千円となりました。これは、借入金の返済等に伴い長期借入金が796,207千円減少したこと等が主な要因であります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて101,080千円増加し、3,642,787千円となりました。これは、利益剰余金が346,445千円増加した一方で、自己株式が268,905千円増加したこと等が主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ911,808千円減少し、当連結会計年度末には、4,681,200千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得た資金は864,574千円（前連結会計年度比5.9%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益（944,116千円）、売上債権の減少（227,119千円）法人税等の支払額（△459,184千円）等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は487,548千円（前連結会計年度比513.8%増）となりました。これは主に、本社移転等に伴う有形固定資産の取得による支出433,536千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は1,310,491千円（前連結会計年度は3,162,310千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出（△795,996千円）、自己株式の取得による支出（△299,963千円）、配当金の支払額（△196,312千円）等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率 (%)	80.6	81.4	79.2	42.1	47.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	1,004.2	1,483.7	1,164.3	466.5	359.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.0	0.0	0.0	4.5	3.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	256.5	278.6	192.7	154.4	106.3

自己資本比率：自己資本／総資本

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。

3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

5. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(3) 次期の見通し

2022年9月期においては、Solution事業の持続的な事業拡大、SaaS事業の本格的な成長を見込んでおり、増収の見通しであります。利益面においては、採用活動への注力、SaaS事業への積極投資等による費用増を見込んでいるものの、増収を受けて増益となる見通しであります。連結業績につきましては、売上高6,500百万円（前連結会計年度比18.1%増）、営業利益1,100百万円（前連結会計年度比13.2%増）、経常利益1,100百万円（前連結会計年度比14.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円（前連結会計年度比28.9%増）を見込んでおります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益の還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、将来に向けての事業展開と経営基盤の強化に必要な内部留保を確保しつつ、配当性向を勘案し、業績に応じた積極的かつ弾力的な利益配当を行っていくことを基本方針としております。

具体的な配当金額は、キャッシュ・フローの状況等を基準に決定いたしますが、中期的な連結配当性向30%を目標としております。

2021年9月期の配当は、期末配当5.0円（年間配当5.0円）を予定しており、これにより連結配当性向は29.9%となる見込みです。

また、2022年9月期の配当は、期末配当6.0円（年間配当6.0円）、連結配当性向は27.9%を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後のIFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,593,009	4,681,200
電子記録債権	282,813	41,723
売掛金	1,644,373	1,662,360
たな卸資産	4,077	9,491
その他	209,778	41,514
流動資産合計	7,734,052	6,436,290
固定資産		
有形固定資産		
建物	62,386	384,556
減価償却累計額	△61,130	△40,027
建物(純額)	1,255	344,528
工具、器具及び備品	163,862	187,453
減価償却累計額	△122,498	△126,652
工具、器具及び備品(純額)	41,363	60,801
リース資産	44,660	74,325
減価償却累計額	△10,306	△27,014
リース資産(純額)	34,353	47,311
有形固定資産合計	76,972	452,640
無形固定資産		
その他	5,613	2,411
無形固定資産合計	5,613	2,411
投資その他の資産		
投資有価証券	48,625	47,209
繰延税金資産	92,167	99,653
敷金及び保証金	185,804	357,942
投資その他の資産合計	326,597	504,805
固定資産合計	409,183	959,857
資産合計	8,143,235	7,396,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	160,392	156,244
1年内返済予定の長期借入金	795,996	795,996
リース債務	15,027	35,019
未払法人税等	253,975	206,096
賞与引当金	95,959	54,741
その他	369,164	392,837
流動負債合計	1,690,514	1,640,934
固定負債		
長期借入金	2,881,217	2,085,010
リース債務	23,318	20,937
その他	6,478	6,478
固定負債合計	2,911,014	2,112,426
負債合計	4,601,528	3,753,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,418	554,468
資本剰余金	477,711	477,060
利益剰余金	3,261,557	3,608,002
自己株式	△831,494	△1,100,399
株主資本合計	3,461,192	3,539,131
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△31,637	△5,415
その他の包括利益累計額合計	△31,637	△5,415
非支配株主持分	112,151	109,071
純資産合計	3,541,706	3,642,787
負債純資産合計	8,143,235	7,396,148

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,764,630	5,501,506
売上原価	3,297,235	3,216,941
売上総利益	2,467,394	2,284,565
販売費及び一般管理費	1,283,097	1,312,899
営業利益	1,184,296	971,665
営業外収益		
受取配当金	1,113	—
未払配当金除斥益	140	125
助成金収入	237	547
受取賃貸料	—	645
その他	401	88
営業外収益合計	1,892	1,406
営業外費用		
支払利息	4,890	8,315
支払手数料	1,951	1,878
為替差損	295	1,354
投資事業組合運用損	—	1,285
その他	334	161
営業外費用合計	7,470	12,995
経常利益	1,178,718	960,077
特別利益		
投資有価証券売却益	37,766	—
特別利益合計	37,766	—
特別損失		
減損損失	86,072	—
事務所移転費用	—	15,960
特別損失合計	86,072	15,960
税金等調整前当期純利益	1,130,412	944,116
法人税、住民税及び事業税	440,280	405,659
法人税等調整額	13,829	△6,927
法人税等合計	454,110	398,731
当期純利益	676,302	545,385
非支配株主に帰属する当期純利益	8,209	2,211
親会社株主に帰属する当期純利益	668,092	543,173

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	676,302	545,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,603	—
為替換算調整勘定	△9,414	26,221
その他の包括利益合計	△22,017	26,221
包括利益	654,284	571,607
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	646,074	569,395
非支配株主に係る包括利益	8,209	2,211

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	552,968	456,225	2,841,169	△552,456	3,297,906	12,603	△22,223	△9,619	71,784	3,360,071
当期変動額										
新株の発行	450	450			900					900
連結子会社の増資による持分の増減		23,619			23,619					23,619
連結子会社株式の取得による持分の増減		△14,271			△14,271					△14,271
剰余金の配当			△247,704		△247,704					△247,704
親会社株主に帰属する当期純利益			668,092		668,092					668,092
自己株式の取得				△299,991	△299,991					△299,991
自己株式の処分		11,688		20,953	32,641					32,641
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△12,603	△9,414	△22,017	40,367	18,349
当期変動額合計	450	21,485	420,387	△279,037	163,286	△12,603	△9,414	△22,017	40,367	181,635
当期末残高	553,418	477,711	3,261,557	△831,494	3,461,192	—	△31,637	△31,637	112,151	3,541,706

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	553,418	477,711	3,261,557	△831,494	3,461,192	△31,637	△31,637	112,151	3,541,706
当期変動額									
新株の発行	1,050	1,050			2,100				2,100
剰余金の配当			△196,728		△196,728				△196,728
親会社株主に帰属する当期純利益			543,173		543,173				543,173
自己株式の取得				△299,963	△299,963				△299,963
自己株式の処分		△1,701		31,058	29,357				29,357
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						26,221	26,221	△3,079	23,141
当期変動額合計	1,050	△651	346,445	△268,905	77,938	26,221	26,221	△3,079	101,080
当期末残高	554,468	477,060	3,608,002	△1,100,399	3,539,131	△5,415	△5,415	109,071	3,642,787

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,130,412	944,116
減価償却費	50,632	88,175
のれん償却額	14,855	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,655	△42,072
受取利息及び受取配当金	△1,135	△37
支払利息	4,890	8,315
為替差損益(△は益)	△1,173	634
投資事業組合運用損益(△は益)	△0	1,285
投資有価証券売却損益(△は益)	△37,766	—
減損損失	86,072	—
移転費用	—	15,960
売上債権の増減額(△は増加)	△95,981	227,119
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,232	△5,404
仕入債務の増減額(△は減少)	38,653	△4,237
未払金の増減額(△は減少)	△15,244	93,049
その他	128,455	18,110
小計	1,286,247	1,345,015
利息及び配当金の受取額	1,135	37
利息の支払額	△5,285	△8,129
移転費用の支払額	—	△13,163
法人税等の支払額	△465,984	△459,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	816,112	864,574
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25,472	△433,536
投資有価証券の売却による収入	46,849	—
子会社株式の取得による支出	△43,439	—
事業譲受による支出	△50,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	128,384
敷金及び保証金の差入による支出	△8,167	△182,397
その他	801	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,429	△487,548
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	4,000,211	—
長期借入金の返済による支出	△322,998	△795,996
リース債務の返済による支出	△9,924	△15,027
株式の発行による収入	900	2,100
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△14,271	—
非支配株主からの払込みによる収入	64,400	—
自己株式の取得による支出	△299,991	△299,963
配当金の支払額	△247,392	△196,312
非支配株主への配当金の支払額	△8,623	△5,291
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,162,310	△1,310,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,027	21,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,891,965	△911,808
現金及び現金同等物の期首残高	1,701,043	5,593,009
現金及び現金同等物の期末残高	5,593,009	4,681,200

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 6社

連結子会社の名称 Fixstars Solutions, Inc.  
株式会社Fixstars Autonomous Technologies  
株式会社Sider  
Sider, Inc.  
株式会社Smart Opinion  
オスカーテクノロジー株式会社

株式会社Sider及びSider, Inc. は、当連結会計年度において株式会社スリーク及びSleek, Inc. からそれぞれ商号変更しております。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

全ての連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

a 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

b その他有価証券

時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、投資事業有限責任組合への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

ロ たな卸資産

a 商品・製品・原材料

移動平均法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

b 仕掛品

個別法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産(リース資産を除く)

a 当社及び国内子会社

建物(建物附属設備を除く)

定額法

建物以外

①2007年3月31日以前に取得したもの・・・・・・旧定率法

②2007年4月1日以降に取得したもの・・・・・・定率法

③2016年4月1日以降に取得した建物附属設備・・定額法

b 海外子会社

定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	2～7年
工具、器具及び備品	2～10年

ロ 無形固定資産（リース資産を除く）

市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売金額を基準として販売金額に応じた割合に基づく償却額と販売可能期間（3年）に基づく定額償却額のいずれか多い金額をもって償却しております。

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権など特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当連結会計年度における計上額はありません。

ロ 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、賞与支給見込額の当連結会計年度負担額を計上しております。

(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

受注制作のソフトウェアの売上高及び売上原価の計上基準

a 工期がごく短いもの及び当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められないもの

工事完成基準

b その他

工事進行基準

なお、当連結会計年度において工事進行基準を適用しているものはありません。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(7) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時点において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症につきましても、現時点において当社グループの事業及び業績に重要な影響を及ぼすものではありませんが、収束時期等については不確定要素が多く、引き続き今後の動向を注視してまいります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当連結会計年度を初年度とする中期経営計画の策定に伴い、当社グループの経営管理体制を見直しております。これにより、従来「ソフトウェア・サービス」「ハードウェア基盤」としていた報告セグメントの区分を、「Solution事業」「SaaS事業」に変更しております。

「Solution事業」は、リアルタイム画像処理、大規模シミュレーション、ビッグデータ分析やストレージ関連のソフトウェア開発・高速化サービス及び関連するハードウェアの提供を行っております。

「SaaS事業」は、エッジビジョンAI/IoT向けクラウド評価環境「GENESIS」や量子コンピュータ向けプログラムの開発・実行プラットフォーム「Fixstars Amplify」など、これまで培ってきた知見を基に複数のサービスをSaaSとして提供しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア・サービス	ハードウェア基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	4,926,415	838,214	5,764,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,926,415	838,214	5,764,630
セグメント利益	1,137,494	46,802	1,184,296
その他の項目			
減価償却費	50,461	170	50,632

(注) 1. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載は行っておりません。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	Solution事業	SaaS事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,420,798	80,708	5,501,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,420,798	80,708	5,501,506
セグメント利益又は損失(△)	1,451,497	△479,831	971,665
その他の項目			
減価償却費	70,796	17,379	88,175

- (注) 1. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
 2. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載は行っておりません。  
 3. 「報告セグメントの概要」に記載のとおり、当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しておりますが、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成することが実務上困難であります。よって、次の通り、当連結会計年度の売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報を変更前の報告セグメントの区分により表示しております。

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア・サービス	ハードウェア基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	5,018,755	482,751	5,501,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,018,755	482,751	5,501,506
セグメント利益	927,565	44,099	971,665
その他の項目			
減価償却費	88,021	154	88,175

- (注) 1. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
 2. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載は行っておりません。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
キオクシア(株)	1,899,831	ソフトウェア・サービス
(株)日立製作所	817,857	ソフトウェア・サービス及び ハードウェア基盤
(株)ネクスティエレクトロニクス	587,940	ソフトウェア・サービス

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
キオクシア(株)	1,871,854	Solution事業
(株)ネクスティエレクトロニクス	599,751	Solution事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	ソフトウェア・サービス	ハードウェア基盤	合計
減損損失	86,072	—	86,072

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	ソフトウェア・サービス	ハードウェア基盤	合計
当期償却額	14,855	—	14,855
当期末残高	—	—	—

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	104.60円	108.68円
1株当たり当期純利益	20.24円	16.64円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	20.22円	16.63円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
(1) 1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	668,092	543,173
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	668,092	543,173
普通株式の期中平均株式数(株)	33,012,447	32,651,089
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	21,528	6,957
(うち新株予約権(株))	(21,528)	(6,957)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。